

陸上競技場で介助にあたる皆様へ

～ 必ずお読みください ～

大会事務局

長野県障がい者スポーツ大会は、全国障害者スポーツ大会の選考会を兼ねて開催します。このため単なるレクリエーション大会とは異なる厳正な競技運営が求められます。

介助者は、このことを十分に認識した上、介助にあたってください。

重要な注意事項

- 1 競技開始時刻ではなく招集時刻に招集所に集合する。
- 2 競技場内に入るには専用のベスト（又は腕章）が必要。
- 3 許可を得ない介助者が競技場内に入った場合、介助を受けた競技者を失格とする場合がある。
- 4 競走競技で、介助者が許可を受けずに伴走した場合、競技者を失格とする。**（伴走の許可は、入場とは別に必要）**
- 5 競技場内では、審判員の指示に従う。従わない場合、競技者を失格とする。
- 6 介助者は、競技にふさわしい服装で介助する（ジャージ等が望ましい）。
- 7 競技場から出るときには、ベスト（腕章）を返却する。

困った介助・介助者の例



- 1 ハイヒール、革靴、サンダルなどを履いての介助
- 2 一人の選手に家族全員が付き添うなどの過剰な人数の介助
- 3 競走中のトラックを横切る、砲丸・ジャベリックスローなどの競技場を横切る等の危険な介助
- 4 ベストを返さないで持ってってしまう介助者

※介助の許可は、当日会場で、競技場に入る度に毎回受けてください。